

文部科学省は、学習指導要領改定に向けて動き始めました。計画によると2年後の平成28年度には全面改定がなされ、32年度からは全面実施になるとされています。今回の改定では、英語教育の改革や道徳の教科化など注目されている内容が多くあります。これは「急速に進むグローバル化に対応し、国際社会でも活躍できる人材を育成するのが目的である」と産経ニュースでは伝えられています。

こうした中、本委員会では平成7年度より愛媛県下全小中学校における情報教育環境実態調査を実施しており、本年度で20年間分のデータが蓄積された。これまでの愛媛県の情報教育推進を考察する上で貴重なデータとなるだけでなく、今後の各市町における整備計画にも役立つものであると言えます。

また、本年度は松山市小学校情報教育研究委員会と共催し、愛媛大学において研修会を実施しました。分科会の一つを担当し、学力向上をめざしたICT活用のワークショップを行いました。松山市を中心に教諭のみならず養護、栄養教諭などの参加があり幅広い有益な研修が実施できました。このような活動の積み重ねが愛媛県の情報教育推進の礎となると思われます。

さらに昨年度より継続しタブレット端末の研究にも取り組みました。台数を追加し、グループで、または一人1台でタブレット端末の活用実践を行いました。先の実態調査において県下にもタブレット端末が少しずつではありますが導入されてきたことが分かりました。まだまだ、県平均すると各学級に1台にも満たない数です。しかし、今後、各市町で導入されたときの情報提供を行うことができるとともに、導入されてすぐ活用できる実践報告が蓄積されました。また、2年間の実践研究を行うことで、導入される機器や活用環境についての成果や課題も明らかとなりました。

情報化社会はめざましい勢いで進歩しています。その波が教育現場にも押し寄せてきています。現状のICT機器を教育に有効活用する研究を推進するとともに、先を見通した先行的な研究も推し進めていかななくてはなりません。その役目を我々委員会は担っていると考えています。急速に進むグローバル化の中で、ICT機器活用が目的ではなく、コミュニケーション等の子どもたちの生きる力を育む情報教育の実践研究に今後も取り組んでいき、その情報を発信していきたいと思えます。

本年1年間の活動に対する皆様のご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後の愛媛の情報教育推進のために、ともに取り組んでいただくことを重ねてお願い申し上げます。

平成27年3月

愛媛県教育研究協議会情報教育専門研究委員会